

第5回阿波おどり未来へつなく実行委員会 議事録

日時：令和4年7月26日（火） 14：30～16時

場所：あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）5階 会議室6

出席者：委員24名 監事1名 オブザーバー2名（内オンライン参加6名）

【開会】

【議事】

(1) 第1号議案

（事務局説明）

○阿波おどりの開催規模について

- ・とくしまアラートが感染警戒前期に上がっているが、政府や徳島県は行動制限を求めている状況である。当初の事業計画では、とくしまアラートの上昇により行動制限が伴うことを想定した開催規模を設定していた。現在のとくしまアラートに当てはめるとモデルBとなる。
- ・とくしまアラートが上がる前の7月11日から無料演舞場の出演連を募集しており、多くの踊り連から申し込みがあった。おどり広場を残して一般連の踊る機会を確保しつつ、新町橋演舞場の開設を取りやめて、会場エリアを一定縮小することで更なる感染症対策を実施する「モデルBダッシュ案」を新たに提案した。開催規模のご判断をいただきたい。
- ・にわか連実施の検討を進めていたが、今回の感染拡大に伴い、実施しないこととしたい。

（中谷委員）

- ・文化の側面からも無料演舞場を無くすのはどうか、Bダッシュ案に賛成である。
- ・私どもの団体には飲食店や繁華街周辺で商売をしている者が多く、無料演舞場があるかないかで県内の方々の動向がかなり変わってくる。できるだけ無料演舞場やおどり広場を開設したいと考えている。

(岸田委員)

- ・にわか連は仕方がないと思う。
- ・屋台が出るか出ないかではゴミの量が変わってくる。屋台の開設はどうするのか。

(事務局)

- ・Bダッシュの開催規模においても屋台を開設する方向で考えている。更なる感染症対策に十分に組み込んだ上での屋台の運営を出店者にもご理解いただくようお願いする。

(岸田委員)

- ・運営ボランティアは必要だと思うが、感染拡大に伴いボランティアが集まるかどうか分からない。事務局では運営ボランティアをどのように検討されているのか。

(事務局)

- ・ボランティアについては、現在のところ徳島市の阿波おどり公式アンバサダーを中心にお声掛けをしている。

(岸田委員)

- ・こちらのボランティアの事業所にも若い子を中心に集まってきている。事務局とすり合わせをしながら活動の場を作れたらと思う。

(鈴江委員) ※都市開発

- ・国も県も行動制限はしないという中で、各自がコロナ対策を留意しながらやっていけばいいと思う。事務局案に賛成である。

(折口委員)

- ・阿波おどりが無事に開催できるよう感染対策も徹底して練習を行っている。

(森田代理委員)

- ・感染症対策を強化しながら練習している。プランBダッシュに賛成である。

(東委員)

- ・Bダッシュ案でいいと思う。

(山田委員)

- ・色々な状況を見据えると修正や規模縮小したモデルBダッシュ案での開催について、やむを得ないとも思うが、本音としてはモデルAで開催したいと考えており、モデルBダッシュ案については反対である。
- ・Bダッシュ案であれば無料演舞場が減るため、ほとんどの一般連が踊れない。また、踊りは有料栈敷だけでいいのかという議論も出てくる。
- ・両国橋南から紺屋町までの通りをBダッシュ案に付け加えていただきたい。栈敷だけでなく、エリア内の通りで踊っている姿が徳島の阿波おどりだと思う。

(福本委員)

- ・総合的に判断しモデルBダッシュ案としたとあったが、その辺りが曖昧でよくわからない。また、来場者数を予測しているのであれば、踊る範囲を狭くしたら、逆に密集して感染が広がるのではないか。総合的な判断と合わせて、どのような意見でこうなったのか教えて欲しい。

(事務局)

- ・政府や徳島県の行動制限を行わないという方針を踏まえて、一般連の踊る機会を確保していきたいというのが検討の中にあり、会場エリアを一定縮小することで感染症対策をさらに強化できないかと考えた。

(杉原委員)

- ・コロナの状況も分かるが、会場の範囲を多少なりとも変更し、もう少し踊る場所を広げていただきたい。
- ・以前台風で中止になったときに、踊り子が東新町の方に勝手に踊り込み警察とトラブルになった。今回も同じようになる可能性もある。(会場エリアを)抑制するのであれば、警察関係の協力も強化していただかなければならないと思う。

(森浦委員)

- ・Bダッシュに総合的には賛成だが、両国橋の南側が行き止まりのようになっており、人数が捌けないと思う。会場エリアとして両国橋南商店街の通りを秋田町の交差点まで伸ばした方が感染対策の考え方としてもいいと思うので、検討して頂きたい。
- ・駐車場やバスはどのようになっているか教えて欲しい。

(事務局)

- ・シャトルバスについては当初の説明と変更なく運行する予定である。乗降場の市立体育館前は変わらないが、寺島公園前が工事中のため徳島市役所東側に変更のする予定である。
- ・駐車場についてはイオンモール第二駐車場とマリンピアの駐車場の2カ所を開設する。また、内町小学校と富田中央公園についても地元団体と話を進めており、臨時駐車場を開設できる見通しである。

(寺内実行委員長)

- ・会場エリアを延長するという山田委員の意見に対して賛成か委員の意見をお伺いしたい。少しだけ広げるということではよろしいか。

(事務局)

- ・今回新町橋演舞場が無くなれば、踊り連の割り振りにかなり苦慮するところであり、交通規制の緩和を含めて両国橋南のエリアについてご意見をいただいた方が割り振りを進めていける。ご理解願えればと思う。
- ・一般連の皆さんからたくさんの踊り込みのご希望をいただいているが、今回は一定踊り込みの調整をお願いさせていただければと思う。

(立川委員)

- ・以前からお伺いしているが、申し込み以外の一般連の対応はどうなっているのか。太鼓をメインにした連などは申し込みをしていないと思う。普段から決まった時間に決まった場所で踊る連がたくさんいる。そういった連の対応はどう考えてどのような結果が出たのか。

(山田委員)

- ・事業運営委員会の一員として説明したい。
前回、感染予防の観点から事前に申し込みをとというお話もあったが、いつどこで誰が来るかわからないことを事前予約するのは難しいと思い、不可能ではないかとお答えした。
- ・交通規制内であれば、自由に使って構わないというように判断をせざるを得ないと思う。
- ・Bダッシュ案では新町橋や元町地区の両サイドが無秩序なエリアになると想定される。感染対策だけではなく過去に現場でトラブルが起こったことも踏まえ、スタッフを余分に張り付け、踊る人に協力してもらえよう呼びかける必要があるのではないか。

(立川委員)

- ・阿波おどりの文化として街を盛り上げてきた人は非常に多くいて、有名連が棧敷で踊るだけではなく、今まで街全体で踊っていた人たちが帰ってきて初めて元の阿波おどりが成功するように思う。
- ・このBダッシュ案であれば新町橋周辺が非常にカオスな状態になる。感染対策も含めてどのようにアナウンスをしていくのか、そういう対策が出来上がっているのかをみんな不安に感じている。
- ・演者側は非常に厳しい中で対策しながら練習しているため、遊びに来る方にもそれだけの対策をしていることを周知していただきたい。各会場のメインとなる場所で感染対策について発信されていたら「マスクをしなければいけない、密になったらだめだ」というような声も出てきて全体的に調和を取れるのではないかと。申し込んでない連にも個々に対策をきっちり取ってもらえると思う。

(越後委員)

- ・イベントであれば主催者の判断で決めてもよいと思う。しかし、阿波おどりは文化伝統、市民のものと考え、本来は主催者側が開催するかどうか決めるのではなく、その代表者が集まる実行委員会での意見が重要で、結論から言うと開催すればいいと思っている。

- ・そして、開催規模について今まで議論してきたモデルAでいいという意見があるのであれば、モデルAに戻していただきたい。

(楠委員)

- ・団体も含めてチケットの売れ具合を教えて欲しい。

(事務局)

- ・その他報告事項でご説明させていただく。

(中村委員)

- ・おどり広場より演舞場の方が間隔を空けて座ってと言いやすいのではないか。おどり広場だと逆に感染対策にならないと思う。モデルA案を少し縮小してでも新町橋演舞場は開設した方がいいと思う。

(京野委員)

- ・エリア内に入ってくる人の量がコントロールできないのであれば、規模を小さくしても圧縮するだけで密集してしまう。規模を小さくする必要はないのではないか。モデルAに戻せるのであれば戻してもいいと思う。
- ・演舞場の申込数が結構オーバーしているが、どのようにして選定するのか。今年は感染対策ができてない人が参加するのではなく、きちんと対策できている方に踊っていただくのがいいと思う。
- ・アミコドームとさくらホールの申込がかなり少ない。例年申込が少ないのであれば今後変える必要もあるのではないか。

(山田委員)

- ・アミコドーム、さくらホールは今回初めての募集であり、開催時間が早いため、仕事などで参加できない人が多いのではないか。

(事務局)

- ・複数の日程を申込みされている連もある。できる限り多くの連に参加出演していただくという観点から、複数日の申込みの連については出演の場所や日程を調整させて

いただく方向で進めている。現在の状況として、重複されている連も調整ができそうな見通しである。

(立川委員)

- ・今のBダッシュ案だと、新町川の北側しか踊り子が待機できる場所がない。道路上やお店の前で待たせていただくことになると思うが、踊り子のこととも考えるとスペース的にも足りない。動線的にも一般の方とバッティングする部分が非常に多い。

(杉原委員)

- ・ポッポ街では空き店舗を休憩場所や荷物の置き場所として利用しており、もう既に何件か問い合わせがある。16坪程のスペースに空調を入れた状態で待機できる場所が何ヶ所かできている。
- ・ポッポ街だけでなく、東新町の空き店舗なども一時貸し契約できるはずである。

(事務局)

- ・踊り連の待機場所について、夜のあわぎんホールや徳島市役所13階の大会議室を現在検討している。

(立川委員)

- ・店舗の貸し出しについては認識がない連もある。通常であれば常に栈敷に入って踊っている状態だったが、時間が空くとどうやって過ごしたらいいかわからないという方も多くいると思う。店舗の貸し出しについて周知していただけたら、変わってくると思う。

(寺内実行委員長)

- ・台風の発生や国の方針で行動制限が出た場合など、今後様々なことが起こり得ると思う。時間がある場合は今回のように実行委員会を開催するが、緊急の場合などは事業運営委員会で検討した上で、最終の開催判断については実行委員長へお任せいただくことでよろしいか。

(中村委員)

- ・従来の規模からするとかなり縮小しているので最低でもモデルAでどうか。モデルBダッシュ案にしたからといって感染が収まる訳ではない。

(越後委員)

- ・民主主義の考えで、実行委員会で意見がまとまるのであれば、また、文化伝統を継承しなければいけないという観点もあり、過去何回か中止になっていることを鑑みても、そのままの開催規模（モデルA案）でいいのではないかと思う。

(事務局)

- ・事務局としては、Bダッシュ案でご提示をさせていただき、開催規模のご判断を頂戴したいと考えている。

(京野委員)

- ・皆さんが反対し、モデルA案がいいとなった場合にモデルA案に戻せるのか。
- ・会場エリア外にも人は出ると思う。もし感染があった場合、エリア外の部分について責任は無いのか。
- ・会場エリアを狭くした場合、エリア内の人口密度が高くなることに対する答えも出ていない。
- ・演舞場を2つ無くすのは皆様納得されるかもしれないが、会場エリアが狭くなるのはどうかと思う。例年の会場エリアに慣れている部分もあり、踊り子への周知を今からしてもなかなかできないのではないか。
- ・人が流れ込んだときに無法地帯になるのを想定して、こういった対策を考えているかを教えていただきたい。

(事務局)

- ・会場エリアの点線の枠は、入場制限を設けるわけではなく、踊りが開催されるエリアとしてはこの範囲に一定縮小するというエリア。会場エリアが一定縮小された場合としては、感染症対策を注意喚起する看板の増設や、消毒関係の増設、また感染症対策として雑踏を整理するスタッフの増員、きめ細かなスタッフの配置などを考えている。

(立川委員)

- ・東新町などは規制内に置いた方がいいと思う。規制外にすることで、好きにしているのではという人が出てくる可能性がある。いつもあの辺りではいつまでも鳴り物を鳴らして踊っている。そこを規制して踊らせないようにすることが大事ではないか。そういったことを踏まえて規制エリアは考え直した方がいい。

(山田委員)

- ・本来8月1日にこの会が開催される予定だったが、開催規模について8月1日の決定では遅いと考え急遽開催してもらった。
- ・可能であれば、アーケードを含んだエリアを会場にすれば、新町橋の栈敷ができるのではないかと。事務局に計画を検討していただきたい。
- ・演舞場を減らすデメリットとして、張り付けを組み直さなければならない。
- ・色々な声や批判があると思うが、徳島の大きいイベントが未来に向かっていくためにも、頑張っって一つの決断を下していく必要があると思う。

(杉原委員)

- ・シャトルバスから降りた集団が藍場浜パーキングの前を通過して藍場浜演舞場やあわぎんホールにそのまま流れるが、藍場浜パーキングの前の交通整理が全くできていない状態で集団が通り抜けていくと交通混乱が起こる。警察に交通整理をお願いしたい。一度ご検討いただければと思う。

【報告事項】

(事務局説明)

○報告事項1、各種協賛の状況について

- ・基本協賛については、7月26日時点で160口の協賛をいただいている。募集期間を当初7月22日までにしてはいたが、7月27日まで延長して募集を続けている。協賛募集の周知のご協力をお願いしたい。
- ・見物ガイド、うちわ、スタッフTシャツに関しては当初設定していた額を上回る応募をいただいた。

○報告事項2、その他報告事項について

- ・国や徳島県において、保健所による積極的疫学調査を実施せず、濃厚接触者の特定や行動制限を行わない方針などを踏まえ、今後、感染疑い発生時の対応については国や県の方針に合わせて感染症対策実施マニュアルを改訂する方向で準備を進めている。改訂後は公式ウェブサイトに掲載する予定である。

○報告事項3、チケットの販売状況について

- ・公演によってチケットの売れ行きに差がある。新型コロナウイルス感染症の拡大やとくしまアラートの発動によりチケットの買い控えがあると考えている。今後は開催規模の判断を明確にする。また、企業連や一般連の出演が決定していくことに伴い、チケット購入への動きも見られると考えている。
- ・本番に近づくとつれて阿波おどりの機運も盛り上がっていくと考えているため、引き続きチケット販売のPRを積極的に進めていきたい。
- ・実行委員会の皆様にも再度チケット販売の周知についてご協力をお願いしたい。

(楠委員)

- ・チケットの発売状況について、全体の何割ぐらい売れているのかを教えて欲しい。

(事務局)

- ・販売チャンネルにインターネット、ローソン、セブン・イレブンなど複数あり、整理ができていない。
- ・団体チケットの販売状況は、現在約5000枚である。

(杉原委員)

- ・旅館組合の予約状況を伺いたい。

(森浦委員)

- ・旅館組合の会員からアンケートは取れていないが、8割程度の予約が入っていると思う。ただ、縮小などで多少変更がある可能性はあると思う。

(事務局)

- ・ 本日の会議でいただいたご意見を事業運営委員会の方で再度検討させていただき、改めて方向性をお示しさせていただきたい。

(山田委員)

- ・ できれば今週中に事務局で打ち合わせをしていただき、書面決議で委員の方にご理解を賜り、結論を出すような形にしていただけないか。
- ・ マスコミの皆さんには、委員の声や街の声など真実を伝えていただきたい。
- ・ 感染対策について指摘される可能性があるが、先ほど提案したアーケードのあたりもご検討いただくのでいかがでしょうか。

(寺内実行委員長)

- ・ 事務局において、早く検討してご返事差し上げたい。本日の会議はこれで終了とする。

【閉会】